

# 工業団地売買契約を可決

(一般会計) 5億9,404万円を補正  
総額129億6,472万円

12月定例市議会

十二月定例市議会は十二月十三日開会、二十三日までの十一日間の日程で開かれ、六十年度一般会計補正予算五億九千四百四十四万円、比江山工業団地売買契約の締結など十八議案と報告一件を可決、承認し、五十九年度一般会計歳入歳出決算認定など六議案を継続審査としました。また、各常任委員、議会運営委員を選び、辞任に伴う議会選出の監査委員に溝淵健夫議員の選任について同意しました。

## 市政報告 (要旨)

まず市長は、提案理由の説明に先立ち、市政の重要課題について次のように報告しました。

### ■財、政

今回の一般会計補正予算で、五十九年度決算剰余金を積み立てた財政調整基金を大部分取り崩さざるを得なくなりました。このような六十年度の緊急対応型の予算は、来年度へ影響することは必至です。六十一年度の政府の地方財政対策として、高率補助金のカットなどが発表されており、財政事情はなおいっそう厳しくなることが予想されます。

来年度の予算編成は、行政改革の推進により行政効率の向上と経費の削減を図らなければならぬことは当然であり、さらに大幅な事業の削減や、事業の繰り延べな

どもやむを得ないのではないかと  
思っています。

### ■比江山処分

多年にわたる財政圧迫の大きな要因となっていた比江山の処分について、ミロク機械の一部売却するのが最も適当と考え、県当局も交えて折衝を重ねてきました。このほど結論も出ましたので、売買契約締結の承認を提案しました。

### ■行政改革

当初は、議員ならびに民間有識者による審議会を条例によって設置するよう計画しましたが、県下の状況の変化も考え、本市も要綱による懇談会の設置に変更しました。市の健全な発展のために不可欠な事項であり、年内に設置したいと考えています。

### ■同和対策

五十九年度から繰り越されてくる事業については、発注も完了し、

施工を進めています。六十年度事業についても並行して行っていますが、不良住宅の認定、線引きの見直しを国に対して申請している

## 可決された主な議案

●昭和六十年度南園市一般会計補正予算—五億九千四百四十四万円  
歳出の主なものは▼同和対策事業東部西部地区小集落改良事業費四千三百三十六万円▼街路事業南園—山田線、篠原—八幡線—負担金四千四百六十六万円▼市パークタウン負担金八千八百三十万円▼九月二十三日の集中豪雨による公共土木並びに農林水産施設の復旧

## 比江山公有地の一部ミロク機械に売却

議会初日の十三日、比江山工業団地売買契約の締結議案が分離可決されました。これは比江山公有地の一部を、ガンドリルのトップメーカー「ミロク機械」(高知市)に売却するもの。  
売却面積は一万四千三百平方メートル、価格は三億九千七百九十六万円。三・三平方メートル(一坪)当たり九万二千円で、鑑定評価九万八千円よりやや低い価格となっています。ミロク機械では、六十二年六月の操業を目指し、移転工事を進めていく計画です。

とら、このほど承認の内示がありました。地域改善特別措置法も余すところ一年余りですので、さらに努力していく所存です。

費六千二百五十五万円▼開発公社への支払い一億九千九百万円(比江山工業団地売却代)など。  
この補正で、一般会計歳入歳出予算総額は百二十九億六千四百七十二万円となりました。  
●南園市税条例の一部を改正する条例  
誘致企業に対して三年間、市税の一部を減免するもの。

## 行革懇談会

### 15人の委員で組織

### 一般質問

十二月定例市議会での一般質問は、十六日から三日間、竹内、小沢、溝淵(正)、徳永、山崎、山岡、岡林、井口、堀川の各議員が市長の政治姿勢や行財政、教育などの問題について、執行部の考えをたずねました。執行部の主な答弁は次のとおりです。

【行革問題】については、要綱による懇談会を組織することに切り替える。組織、運営などについてはいろいろな議論があり遅れていたが、年内には充足させたい。

懇談会のメンバーは、議員五人、民間の有識者十人ということで入選している。若い人で現在、活発に活動されている方にもメンバーに入ってもらいたくよう配慮している。答申はあまり遅くは意味がないので、再来年の予算、行財政に反映できるように来年秋ごろまでにもらえたらと考える。この間の意見は来年度の予算、行財政にも反映させたい。

従来の財政再建審議会は存置し、今後も引き続き指導、アドバイスをお願いする。

【比江山の公有地の売却について】は、企業誘致に伴う道路や水路などの公共施設の建設費が、予想以上にかかる見込みで心配していた

が、当初の予想より一億円以上少ない建設費で賄えるのではないかと考える。したがってミロク機械の誘致については、一億五千万円以上の黒字になる。また、公共施設は残地にも役に立つので、今後の残地売却のときには公共事業費を多く必要としない、あまり経費のかからない売却になると思う。

【香長し尿処理組合への加入について】は、組合長がある程度めどをつけてやってくれている。年内に正式に文書で組合にお願いしようと考えており、要請があれば地元とも直接話し合いたい。議会が終わり次第、組合長の対処の仕方をじゃましない方法があれば、我々も運動を始めたいと考えている。

【海岸地域のハエ問題は、ハウス園芸農家の尽力に加え、一般家庭の協力がなければ撲滅できない。環境浄化を全市民に働き掛けることは大賛成であり、実行に取りか

かりたい。

十一月十六日に海岸地域の美化シンポジウムを開いたが、これは単にごみを取り除くことだけでなく、海岸地域一帯の生活環境をよくくするという観点で取り上げた。また、自転車道、黒潮ライン建設などを考えると観光的な要素も高まってくる。地域の排水対策、ごみ問題などを論議し、建設費、市、住民が一体となって進めていくことになった。今後引き継ぎいろいろな施策を講じていく必要がある。これ以上不法投棄させないようにチラシや看板を立てることも検討している。また、現在不法投棄されているごみを取り除く措置を考えており、来春早くには関係者に集まってもらい協議したい。

【今年四月から十月末までの間に市内各校で把握したいじめの発生件数は、小学校八校で五十四件、中学校三校で二十六件となっている。しかし、これは表面に出て教師が指導した件数なので、これ以外に表面に出ていない潜在的なものもかなりあると見なければならぬ。

いじめの手段で一番多いのは「ひやかし」「からかい」次いで「仲間外れ」「無視する」「持ち物を隠す」「暴力」となっており、多様化、陰湿化しているが、本市の

場合は比較的軽度のものも捕らえている。これに対する対応としては特に①いじめの早期発見と早期対応②いじめを絶対に許さない学級のムードづくり③人権尊重の精神を教育活動全体の中で徹底させるの三点を指導の重点目標として、各学校で具体的な措置を講じるようになっている。行政、学校、家庭、社会一体となった取り組みを更に充実させたい。

【文化行政については、本市の場合何といっても産業と教育の充実を早くということ、多くの施策ができたこと、めどがつけば文化面にも力を入れていかなければならないと考えている。

【市役所駐車場は約二百五十台置

けるスペースがあるが、大きな場合などの際には若干オーバーする。せめて市役所から二、三以内の職員は自転車通勤などの方法も考えなければならぬ。駐車場の拡張は来年度当初予算に組んで、四月から車が置けるようにしたい。

【潮見台ニュータウンの開発申請はミロク製作所、三井建設から提出があり、全体計画は高知、南園市を含め四十九町、人口四千八百五十二人。南園市分は十五町で、そのうち、伊達野が十一町、稲生が四町となっている。地元の問題は水の問題とかつて崩れたことのある崩れ山に対する不安だと聞いている。

## 常任、議運委員が改選

議会初日の十三日には、各常任委員会の委員と議会運営委員の委員が改選され、新しく次のとおり決まりました。

【総務】委員長、○副委員長  
井上徳蔵、岡崎俊一、島崎秋水、山崎清重、島内正雄、吉村雅男

【建設】委員長、○副委員長  
山本昇、徳橋一郎、門田益治、大谷敏、松本二郎

【産業経済】委員長、○副委員長  
和夫、中屋宏二、溝淵健夫、岡林保、土居菊雄、浜田健夫

【教育民生】委員長、○副委員長  
邦明、徳永安雄、今井成子

【議会運営委員会】委員長、○副委員長  
島崎秋水、溝淵健夫、山崎清重、岡林保、門田益治、今井成子、大谷敏